



本書の構成

自動運転について

自動運転の概要、自動運転車のエコシステムの主な構成要素を説明。また、ADAS機能をSAE自動化レベル別に分け、「安全性」または「利便性」のタイプ別に分類

合併/買収

ADAS/自動運転分野の主な投資、合併/買収、提携、合併事業に関する最新ニュースの概要

技術の概要

自動運転の実現に必要なセンサ技術の紹介、各センサ技術の発展の経緯と今後の課題の検証

業界プレイヤー

キープレイヤー（システム/技術インテグレーター、Tier-1 サプライヤーなど）の役割および企業情報の概略

民間主導のAV走行試験

自動運転の実現に必要なセンサ技術の紹介、各センサ技術の発展の経緯と今後の課題の検証

政府主導のAV走行試験

AV走行プロジェクトマップ – 世界で実施中の政府支援/出資の走行試験プロジェクトを国別に紹介

法規制/標準規格

AV開発に関する法規制/標準規格および欧州、米国、日本、中国におけるAV導入の適法性についての概要

安全性評価機関

様々な地域のNCAP組織の概要

関連レポート

自動運転最新動向ガイド – OEMによる展開とシナリオ レポート番号:AUT809

本書はOEM各社の自動運転機能導入に向けた総合的な進捗状況を詳細に分析するSBDの年次レポートです。46社のグローバルOEMの現在のADAS提供状況、業務提携や投資計画、自動運転モビリティの実証試験など複数の要素を検討しています。



Autonomous Car

レポート番号: AUT804

自動運転最新動向ガイド

自動運転業界では自動運転を既存の先進運転支援システムの進化形として捉えており、衝突回避にフォーカスしてきました。しかし、業界は使い心地や利便性を追求した高度な自動化へと進みつつあります。最終的な目標は、ドライバーの好きな時に運転をシステムに代わってもらうことです。

この数年間、商用化されている自動運転車では最高レベルのものでも運転主体は常にドライバーであり、法的責任もドライバーが負う必要がありました。現在、OEMは一部の限られた車種を対象にSAEレベル3システム搭載車の量産を開始しています。Hondaは2021年、完全「ハンズオフ」運転を可能にするレベル3技術搭載車の量産を開始したことを発表しました。

これと並行して、テック企業はロボットタクシーを中心とした新たなモビリティ体制の提供に向け、恒久的な自動運転にのみ注力しています。開発された技術はまだ初期段階ですが、成熟化が進んでいます。

本書では業界におけるコラボレーションやパートナー提携、自動運転の実現に必要な技術や、ディスラプター、Tier-1 サプライヤー、技術開発会社など自動運転車エコシステムの様々なキープレイヤーについて解説しています。さらにそれらキープレイヤーの自動運転車の開発におけるそれぞれの役割について検証しています。







対象市場

欧州 米国 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

 毎年更新  四半期更新  1
ワンタイム

レポート形態

 PDF  PowerPoint  Excel  Online

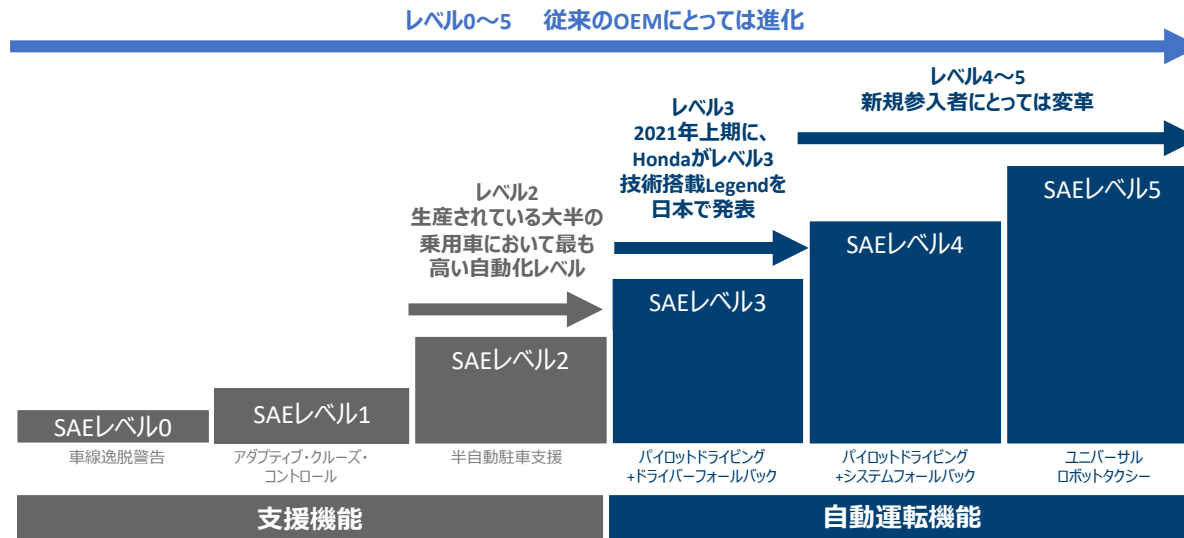
ページ数

 280+

自動運転について

自動運転車を開発しているスタートアップとAmazonやGoogleなどのテック企業はSAEレベル4を直ちに実現しようとしているのに対し、従来型OEMは自動運転機能の導入を徐々に進めています。

SAE自動化レベル



SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

100+ Reports published per year

50k+ Slides of insights, forecasts & data

4,000+ # of auto professionals who access our reports

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「自動運転最新動向ガイド」

お問合せ・お見積り依頼

